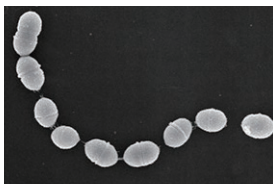


お口の中には何百種類もの細菌がいて、そのうちの「ミュータンス菌」などがむし歯の原因です。

「ミュータンス菌」はネバネバした物質をつくりながら数を増やし、歯にくっつく歯垢（プラーク）になります。うがいだけでは取れないので、しっかり歯みがきをしましょう。



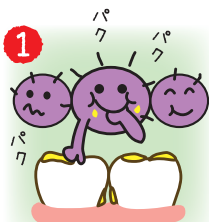
白い塊が歯垢（プラーク）で、この中にミュータンス菌がいます。



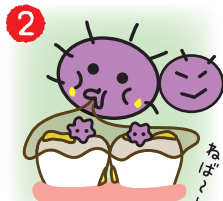
ミュータンス連鎖球菌（※）



## むし歯ができる仕組み



ミュータンス菌が、口の中に残った食べ物や飲み物から糖分をとり込む



ミュータンス菌は、ネバネバした物質を出して細菌の巣である歯垢（プラーク）をつくる



歯垢（プラーク）の中のミュータンス菌が、酸を吐き出す



歯が酸によって溶かされて、むし歯になってしまう

ダラダラ飲食しているとミュータンス菌がたくさん酸を出すよ!

## むし歯菌はどこから来るの？

むし歯菌は歯が生えていないお口には住めません。多くの場合、1歳半～3歳頃にお母さんのだ液からうつります。むし歯の多い人のだ液にはむし歯菌が多いので、お母さん自身のお口の健康も大切です。

〈その他 心がけたいこと〉

- ①ご家族もむし歯を治しておく
- ②正しい歯みがきを教わる
- ③定期健診を受ける



同じスプーンを使ったり、口移しで食べさせるのはNGです。もちろん、お父さんやご家族も同じですね。

親子のスキンシップはお子さんの発育にとっても大切なことです。むし歯菌を恐れすぎず、正しい知識を持ち、子育てを楽しみましょう。

※日本歯科医師会ホームページ「テーマパーク8020 むし歯」  
（東京医科歯科大学学蝕制御学分野 教授 田上順次）より



協力／三重県歯科医師会

〒514-0003 津市桜橋2丁目120番地の2 ☎059-227-6488 (代)

<http://www.dental-mie.or.jp>



日本歯科医師会 PR キャラクター よ坊さん(三重県)